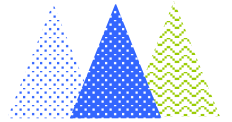




伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3007回 例会2023.11.2 No.1668



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

ソング 君が代・奉仕の理想

会長談話 山田 益会長「夢の核融合発電」

最近時々新聞報道（経済欄）に出てくる技術的なニュースとして、「核融合発電」が有ります。今年10月24日、国の「量子科学技術研究開発機構」は、次世代エネルギーとされる核融合発電に向けた初期的な実験に成功したと発表した。国内の実験施設「JT-60SA」でプラズマ（電離ガス）を確認し、「ファーストプラズマ」と呼ぶ最初の段階を達成した。



核融合は太陽と同じ反応を地上で再現することから「地上の太陽」と呼ばれています。燃料の原子核同士が融合する際に発生する大きなエネルギーを熱として発電などに有効利用する。核融合が持続すれば熱を蒸気に変換してタービンを回す。理論上では燃料1グラムで石油8トン相当のエネルギーを出せると言われています。国内の実験施設は2020年茨木県に完成しました。日本のほか欧州も資金を出しています。核融合反応に不可欠な高温（1億度以上）のプラズマを安定して持続するための知見を得る施設で、実際にプラズマ状態を確認するファーストプラズマに成功するかどうか焦点になっていた。

日米欧のほか中国やインドも参加する国際共同計画「国際熱核融合実験炉（ITER：イーター）」の技術開発を補完する。「JT-60SA」の心臓部は高さ約16m直径約13mで、プラズマを使う核融合向けの実験施設としては「ITER」に次ぐ大きさです。実際の核融合や発電は次の段階である原型炉を建設して実証する。今年8月28日に三菱重工業は「ITER」向け「TFコイル」を完成、高さ16.5m幅9m総重量300トン。日本は19

基のコイルを製造した。

核融合発電で燃料となる重水素は海中から取り出すことができ、温暖化ガスは出ない。さらに燃料が減ったりプラズマが乱れた時は反応が止まる。原発などで採用される核分裂に比べて制御しやすく、放射性廃棄物も現在の軽水炉型の原発より少ない。地球温暖化やエネルギー危機を背景に世界でも研究開発が盛んになっている。



幹事報告 唐澤幸利幹事

- 11月のロータリーレートは\$1=145円です
- 地区事務所からのお知らせです。

①地区職業奉仕セミナーのご案内です。

日時 2023年11月26日(日) 13:00～
 開催方法 会場対面とオンラインのハイブリッド形式

会場 ホテルメトロポリタン長野

- 11月のプログラム
 2日(木)クラブフォーラム(国際奉仕・財団)
 9日(木)12日(日)へ振替
 12日(日)地区大会
 16日(木)卓話(米山奨学生)

※例会終了後、理事会

- 23日(木)休会(法定休日)
 30日(木)IGM(会場・時間変更)

☆お知らせ

- ・本日、国連支援募金「ダメ。ゼッタイ。」の募金箱を廻しますので、ご協力をお願い致します。

- ・駒ヶ根 RC より、ネパール発 2024 年カレンダー「トカルパの光」が届きました。一部 1,000 円にて販売致しますので、購入される方は受付までお願い致します。
- ・次回の通常例会は 11 月 16 日(木)「卓話(米山奨学生)」です。

理事会報告概要

1. 11 月にプログラム 2. モロッコ・マウイ島地震支援金について 3. 退会者について 4. 年末家族会について

出席報告 会員数 57 名 内出席免除者 19 名
出席者 31 名 事前メーキャップ 0 名 出席率 72.09%

ニコニコボックス

- ・山田 益 11 月 7 日は誕生日です。
- ・平澤泰斗 息子がやっと結婚しました。愛媛県出身の方なので、行き来が大変です。
- ・赤羽弘之 急な欠席・遅刻が続いて申し訳ありません。副会長の役目を果たしたいと思います。
- ・唐木 拓 小学生の女子ソフトボールで、全国大会へ県の代表で出場します。

クラブフォーラム ロータリー財団月間

「古着 de ワクチン」報告

清水紀光国際奉仕・財団委員長

先日の「古着 de ワクチン」伊那ロータリーからは 24 名の方に出席して頂き、上伊那全体で 150 袋が持ち込まれました。大型トラックが回収に来てくれ、全員で積み込み 2 時間全ての作業を終了することができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



回収された古着はカンボジアに送られ、貧しい人たちにあげるのではなく分別して販売したり、全世界に送られます。そこに現地の雇用やビジネスの創出にも繋がるものです。

1 袋で 5 人分のワクチン、すなわち、5 人分の命を救うことができます。現在、日本の子どもたちもワクチンを使っています。ポリオは現在、99% 撲滅に近づいています。これは財団の使命の一つとして行なっているものです。ロータリー財団の使命は教育への支援を高めたり、健康状態を改善し、貧困を救済することを通して世界理解、親善、

平和を達成させることです。外国人留学生を支援する米山記念奨学会があります。将来母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な学生を奨学することを目的としています。伊那ロータリーには現在おりませんが、全国で 900 人の留学生を支援しています。2 年間大学生には月 10 万円、大学院生には月 14 万円が支給されます。内訳は中国 371 人、ベトナム 167 人、韓国 94 人、台湾国 37 人、インドネシア 34 人等々。3 分の 1 以上が中国人です。我が国を敵視する政策が続いている国ですので、まさに敵に塩を送る心境であります。

中国には北京と上海とにロータリーがあります。どんな活動をしているか詳細は分かりませんが、2009 年日本に留学し、中国へ帰った学生たちで、長年の夢であった中国学友会が設立されました。この夢を形にしたのは共通する感謝の気持ち、中国で最も日本を知っているのは我々を置いて他にはいない、我々の知ってる日本を次世代に伝え、日中友好関係を発展させることが我々の大きな目的であると謳っています。私共もそうあって欲しいと強く願うものであります。

こうした事業はすべて皆様の寄付によって活動が支えられております。お手元に申込書をお配りしてあります。財団月間でもありますから寄付して下さる方は、申し出て頂きたいと存じます。また、こちらからお願いすることがあると思います。その節はご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

